

立命館 言語文化研究

33巻3号

目次

2020年度国際言語文化研究所リレー講座報告

第1幕「メディアとしての風景と地域の記憶」

仲座久雄と花ブロック

——戦後沖縄におけるコンクリートブロック造の装飾的展開……………磯部直希（1）

近代の東京の郊外

——国木田独歩『武蔵野』から田中恭吉の詩歌と創作版画へ——……………橋本真佐子（13）

第2幕「書いて配って世界を変える——zine・ミニコミ・フェミニズム」

ZINEという選択肢

——個人と個人をつなぐ小さなメディア……………野中モモ（29）

ジン・カルチャーの現在的展開とその意義

——フェミニスト・コミュニティ・アクティヴィズムの視点からの展望……………村上 潔（39）

フェミニズム以前のフェミニストたち

——1950-60年代岩手女子青年たちの生活記録雑誌を読む……………柳原 恵（53）

第3幕「ヴァナキュラーな言語と文化—中世イギリス、江戸時代の越後、 植民地時代のキューバを例に—」

中世の英語文学とヴァナキュラーとしての歩み

——チョーサー、地方語、周縁性……………岡本広毅（65）

ヴァナキュラー文芸と『北越雪譜』……………森山 武（85）

キューバのプッフォ劇におけるヴァナキュラー言語、およびナショナリズムの発現

……………安保寛尚（103）

第4幕「戦後東アジアをめぐる移動と生活史」

中国帰国者の歴史をめぐる継承

——マスメディアと三世——……………山崎 哲（117）

日本と朝鮮半島における人びとの移動と記憶

——日朝韓に跨る親族のつながり……………竹田 響（129）

戦後東アジアをめぐる帰還移民のライフストーリー：

山崎論文と竹田論文へのコメント……………佐藤 量（149）

国際言語文化研究所重点プロジェクト A1-3
文化の移動と紛争的インターフェース
在外日本人・日系人の生活と生業「移民の衣・食・住」

- 日本人移民の「ユートピア」
——アメリカ救世軍日本人部の社会事業館——…………… 坂口満宏 (151)
- ユダヤ人の Home とは何か
——社会心理学的見地から——…………… 吉村季利子 (169)

国際言語文化研究所重点プロジェクト A3
ヴァナキュラー文化研究会

「4か国におけるバラッド（物語歌）展開：ヴァナキュラー文化の多様性と生命力」

- スロベニアのバラッド
——始まりとその展開——…………… ゴレッツ・カウチッチ・マリエットカ (189)
- スコットランドにおけるバラッド文化の展開
——スコティッシュ・アイデンティティ探求の諸相——…………… 中島久代 (209)
- 植民地時代キューバの物語詩
——キューバ人の人種的・文化的主体の表象の変遷について——…………… 安保寛尚 (227)
- 100年生きたラブソング
——恋歌の系譜と1920～30年代ブロードウェイ・ミュージカルの歌詞——
…………… ウェルズ恵子 (249)

個別論文

- La route de l'exil de Sugawara no Michizane FIN
菅原道真－太宰府への道…………… フォール・エリック (267)
- 言語が再び芽吹くための種
——ラリー・カウアノエ・キムラのハワイ語詩と『MELE 詩の国際便』… 阪本佳郎 (275)
- シニア世代の英語学習・英語使用についてのナラティブ分析
——70代女性の語りに表出されるアイデンティティ——…………… 山本由実 (303)